

地域との新しい接点を創造

テクノロジーを活用して市町村の事業に民間企業をうまく取り込んだり、お金の「地産地消」を達成している活動が始まっています。

広島市・徳島市：デジタルサイネージと民間広告

観光案内板は盤面を更新する予算が不足し、地図の内容が変わっても古い情報のままであることもあり、徳島市と広島市では、デジタルサイネージの導入時に広告掲載を認め、財政負担なく観光案内板を刷新する取り組みを始めています。



広島市
経済観光局 観光政策部観光企画担当 主事
小林 豊尚 こばやし とよたか

約180基の観光案内板があるが、情報更新予算は年間約10基分の、ため20年に1回しか更新できず、情報が古いままという課題がありました。



徳島市
経済部 観光課 主事
近藤 和哉 こんどう かずや

市内約200基の観光案内板を設置。年数の経過で周辺施設や店舗の名称変更発生しシールで部分修正していたが見栄えが悪いしかし盤面変更はコストが高い



初期導入の財政負担なし

維持管理の業務負担なし

地域活性化に貢献

出典：広島市・徳島市 自治体通信

飛騨信組 & 高山市役所：デジタル地域通貨

さるぼぼコインは飛騨信用組合が2017年にリリースした地域通貨でスマートフォンにアプリを搭載してコインに両替して、QRコードを使い地域の加盟店で使う仕組み。役所での手数料支払いや、さるぼぼコインだけで使えるサービスを提供して、金融機関と市役所が連携して通貨を地域内で流通させ、お金の「地産地消」を狙うか活動です。



居酒屋や喫茶店、日々のお買い物まで。
飛騨地域の約1,500店舗が加盟店。

出典：飛騨信組

テクノロジーで制約を克服

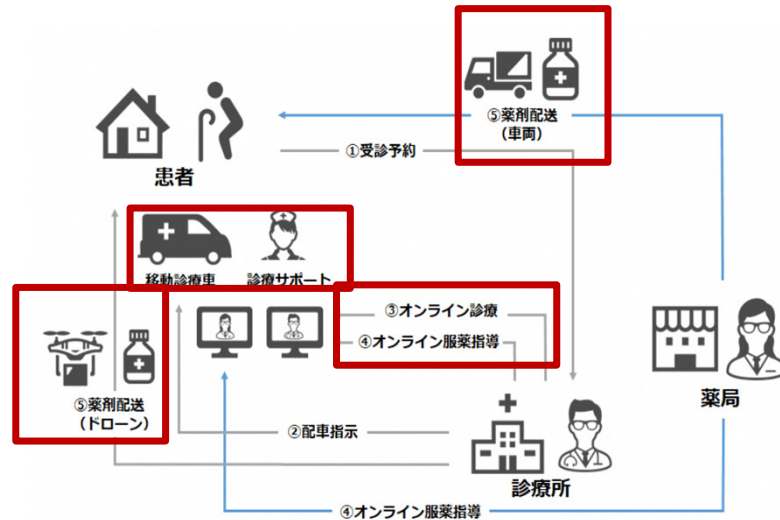
テクノロジーを使えば地理的・物理的・時間的な制約を乗り越えることができます。高齢化したコミュニティの支援や教育等地域の安全安心等について、テクノロジーと人の組合せで制約を乗り越えている例が見受けられます。

浜松市天竜区：高齢の医師を診察車とドローンで支援

浜松市・天竜区は区域の大部分が森林に覆われた中山間地域となっています。特に片道10数km・数時間かかる高齢化率が約50%の同区春野地区は、住民のみならず、高齢化した医師が往診する際にも負担が大きくなっていました。天竜区において医療活動を移動診察車とドローンで支援する実証実験が始まっています。



「実験で活躍した、コミュニティナース」医療やデジタルの知識を生かして地域において高齢化した住民と医師の活動を支援する役割

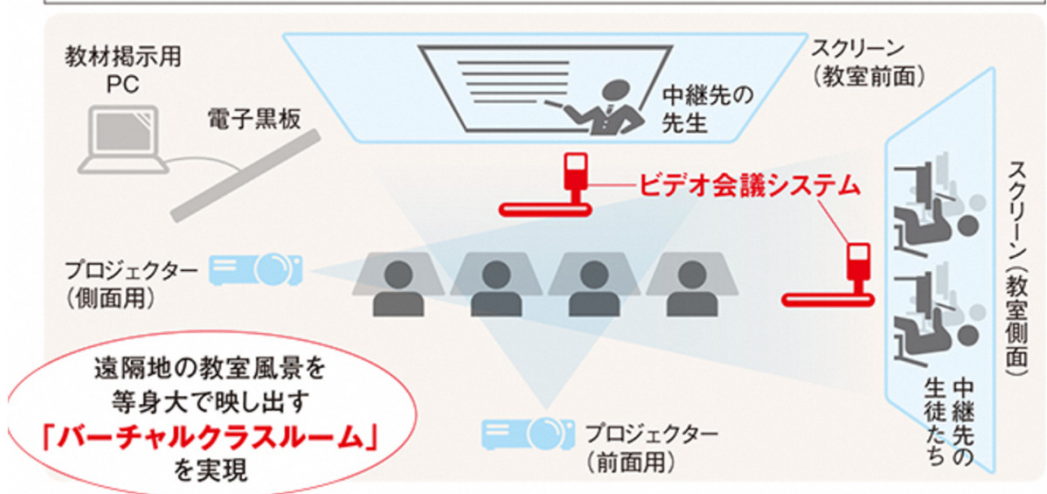


出典：MONET

愛媛県・西条市：ICTを活用した遠隔地学習

西条市は、市町村合併で市域が拡大し、教育現場において少子化が加速する旧町行政区では全校生徒十数人、複式学級(※)を編制せざるをえない小規模校もありました。しかし「小学校は、地域の活力を維持するために欠かせない存在で統廃合しない」との市の理念に基づき、ICTを活用した遠隔合同授業に可能性を見出しました。

西条市が取り組むICT活用遠隔合同授業モデル

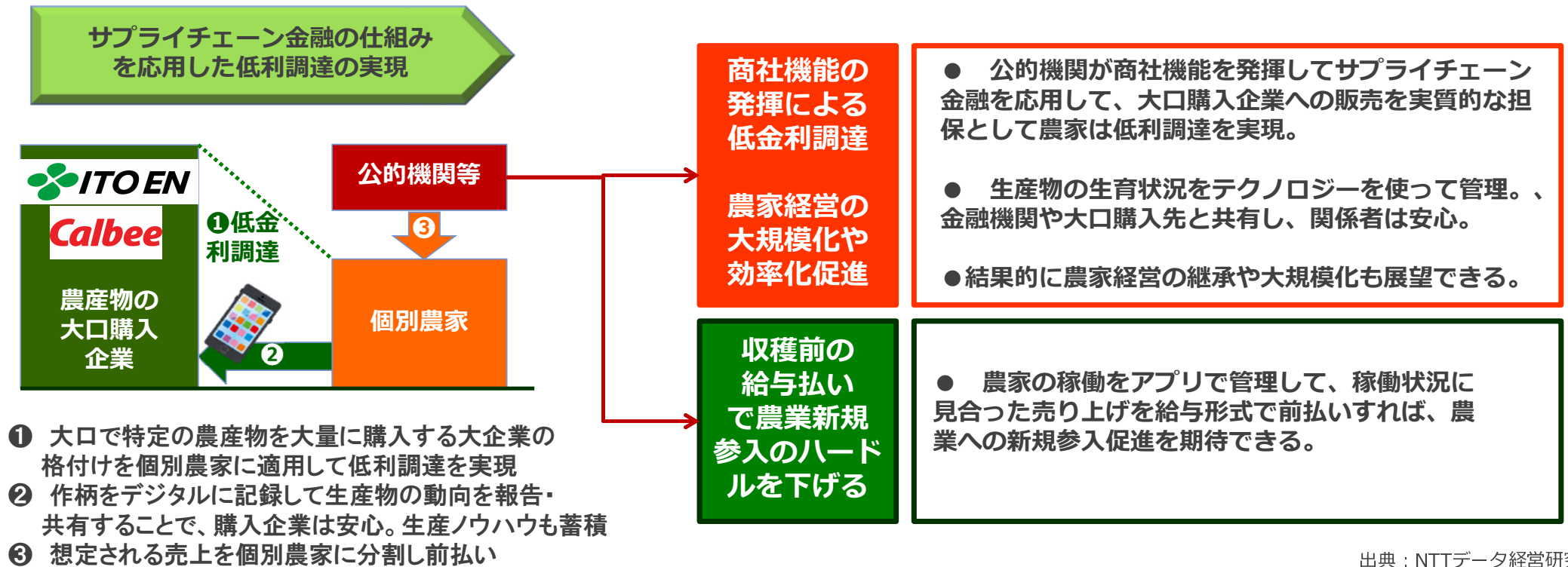


出典：西条市 自治体通信

デジタル連携で農業の潜在的な課題を解決

高齢化・所得の低迷・後継者不足等、農家経営は課題山積で単独での解決は困難視されます。大量の農産物を加工して大規模な経営を行う事業者・公的機関・農家がデジタルで連携し、潜在的な課題の解決を図ります。

大口購入先の信用格付けを使って低利調達を実現



出典：NTTデータ経営研究所

目指す姿：デジタルで公共サービスを住民のジャーニーに組み込む



生活

県民の一生涯の安心な暮らしや生きがいを作り出すために、子育て・医療・生活の中にデジタルを組み込んで支援

産業

デジタルで「人と産業を呼ぶ」、「デジタル地場産業を生む」、「新たなビジネスを興す」サイクルを回し、県民に働く機会を提供

大学

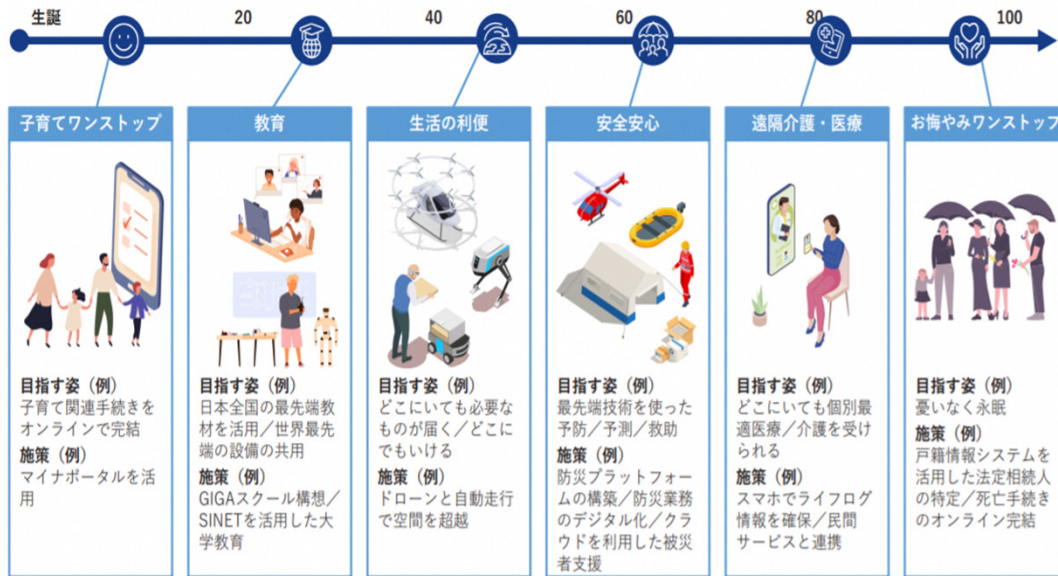
デジタルを使って最先端の知と文化に触れ持続的な成長を遂げるために「知の中核」として大学を巻き込み、社会変革の原動力に据える

出典：デジタル庁

生活からの変革

教育、仕事、治療・介護のために「地域」から離れざるをえない環境に対し最先端の知、仕事、文化とふれあい、デジタルの力で教育から生活、医療に至るまで一人ひとりの生活をサポート

デジタルで一人ひとりの生活を支援



村内移動サービス 自動走行車両がアシスト	
ポイトレ、フィットネス、 機械マニア教室 遠隔教育Sys.がアシスト	
共食付フードデリバリー +お友達キッチンサービス 遠隔注文Sys.がアシスト	

Community Nurseのようなリアルなサポーターが、AI/デジタルの力を借りて、

シニアの暮らしをアシスト

公民館のようなリアルな交流・コミュニティ活動も組み合わせ。

スマホ健康アプリ シニアのスマホ教室 スマホがアシスト	
高齢者Driving School AIシミュレータがアシスト	
ファッション コーデサービス AIシミュレータがアシスト	



出典：デジタル庁

産業からの変革

「人と産業を呼ぶ」、「デジタル地場産業を生む」、「新たなビジネスを興す」の三段階で地域産業構造を変革

スタートアップの育成によって産業を振興



出典：デジタル庁

目指す姿：組込み型行政

住民の生活が一番。行政は、住民の生活の中に溶け込み、組み込まれて縁の下の力持ちとして活動を支援します。

いつでも・どこでも・行政が身近にいる



子育て・介護



農業



生活・仕事

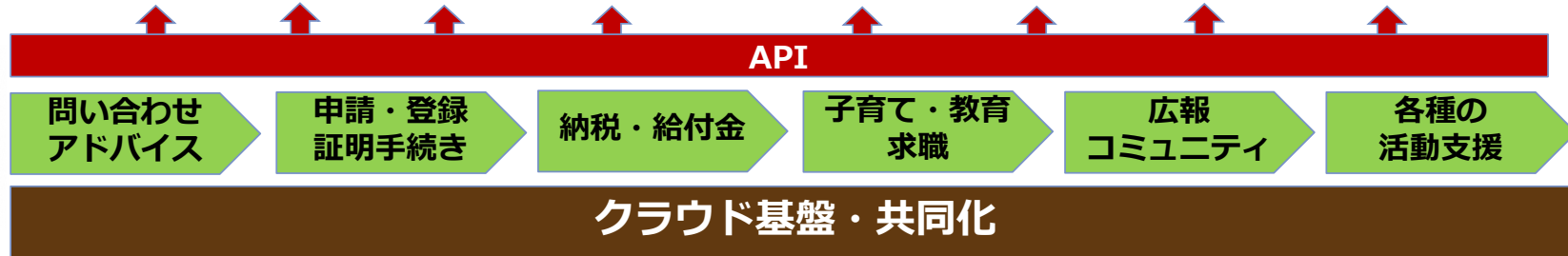


組込み型行政で住民の生活をデジタルでサポート

- どこからでもオンライン診療
- 電子母子手帳で予防接種を管理
- 診療記録を娘と共有

- 野菜を農家に予約して前払い
- グループで収穫のお手伝い
- デジタルで収穫を管理して出荷

- オンラインで必要な手続きが完結
- 個人や会社宛のデジタル私書箱
- 働き手の募集とマッチング





明日の未来を自分たちで作ろう

“The 21st century will be equivalent to 20,000 years of progress at today’s rate of progress; organizations have to be able to redefine themselves at a faster and faster pace.” —Ray Kurzweil, Director of Engineering, Google (Thank You for Being Late, by Thomas L. Friedman)

「21世紀は、今日の進歩の速度で2万年分の進歩に相当します。組織は、ますます速いペースで自らを再定義できなければなりません。」

—Google、エンジニアリングディレクター、レイ・カーツワイル